

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標：発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像：よいよい未来を共に創り出す人間

第2号 2024年12月6日(金)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

研究発表会を終えて

山口大学教育学部

附属幼稚園長・附属山口小学校長 久保田 尚

去る11月22日に、本やまぐち学園「幼小中一貫教育実践研究発表会」を開催しましたところ、県内外から約500名の先生方のご参加をいただきました。「自ら学びをつなぐ子どもの育成 ～学びの過程に着目して～」という研究主題のもと、これまで附属幼稚園・附属山口小学校・附属山口中学校の先生方が研究実践を積み重ねてきた成果を、しっかりと発表することができました。参加された先生方からは、本学園の取組に対してお褒めの言葉や叱咤激励の言葉等をたくさんいただきました。これを糧に今後もしっかりと研究を進めていく所存です。当日の運営に協力して下さった保護者の皆様、多数の参加者が来校したためにご迷惑をおかけしてしまったであろう地域の皆様、皆様のおかげで盛会裏に研究発表大会を終えることができました。ありがとうございました。

さて、今回の研究発表大会で講演会の講師としてお招きしたのが、学習院大学文学部教授・東京大学名誉教授でいらっしゃる 秋田 喜代美 先生です。保育や幼児教育の分野ではとても著名な先生でいらっしゃいますが、実は20年前にも附属山口小学校の研究発表大会に講師として来校されています。このたびお会いしたときにその話をしてみましたら覚えていてくださっていて「あの頃と変わらず、自由で温かい雰囲気の学校園ですね。」とおっしゃっていました。また、研究発表会での講演会では、ご自身の見解も踏まえながら本学園の研究の取組を価値づけてくださいました。やまぐち学園の強力な応援団が一人増えたようで（勝手にそう思っています）、とても嬉しく思いました。

これからも三校園がしっかりと連携しながら頑張っ参ります。今後とも皆様のご支援のほどをどうぞよろしくお願いたします。

【附属幼稚園】

本大会の主題をうけ、保育の研究主題を「学びのつながりを探る～自ら進んで体を動かして楽しむ姿に着目して～」とし研究を進めてきました。大会当日は子どもたちが遊んでいる姿や環境を見ていただき、分科会は「もっとやってみたい」と心と体が動くために大切なことについて話し合いました。「やってみたいことがすぐでき、じっくり試す時間と場が保障されている」「子どもが安心感をもって過ごし、安心を基盤に自己発揮をする姿が随所に見られた」「保育者が思いを共有できるような振り返りの時間などで思いをつないでおり、子どもたちの仲間意識も高まっていた」など当日の様子から大切なことについて話されていました。交流部会では「学びと育ちにつながる交流にするために大切なこと」について県内外から校種、職種を超えて集まった先生方と協議しました。「子どもの必要感や、相手への思いからつながること」「相手への思いが意欲となる」

「教師がお互いの子どもと一緒に理解すること、ねらいを共通理解すること」などそれぞれの課題や実情から大切なことが話されました。「一貫校の中で交流部会が核となることで12年間の学びをつなぐことができるのでは」とご指導いただき、学園の在り方についても考える時間となりました。



【附属山口小学校】

小学校では、9教科で10本の公開授業が行われました。さらに、公開授業の前には、全クラスでフリートークを公開しました。

研究主題にある「自ら学びをつなぐ子ども」を育成するために深い学びの鍵である教科等の「見方・考え方」を、各単元及び各授業で明確に位置付けています。「見方・考え方」のよさを子どもたちが実感し、活用可能な状態へと高めることを目指して授業実践を行ってきました。

1年生の図画工作科では、「せんのぼうけん」の授業を行いました。附属幼稚園でたくさん「面白い」や「やってみよう」といった経験をしている子どもたちが、できた線の形から、「どのような冒険の世界を描こうかな」と考え、友達と交流しながら、工夫して作品に表すことができました。

5年生の理科では、「追究！振り子の規則性」の授業を行いました。重心が異なる複数の振り子の周期を調べることで、振り子の長さとは糸をつるした位置からおもりの重心までであることを見付けました。その中で、実証性や再現性、客観性を支える、数値で表すことのよさや有用性を感得する姿が見られました。

6年生の算数科では、「比例と反比例」の授業を行いました。修学旅行での経験から、遊園地で乗り物に乗る場面を課題として扱いました。比例の関係にあるとみることで2つの乗り物のうち、どちらが早く乗れるのかを求めることができました。また、6年生のもう1つの学級では、総合的な学習の時間で「探究！山小キッズニアプロジェクト」の授業を行いました。修学旅行での経験を基に、自分なりの職業観について様々な角度から振り返り、自分なりの職業観をより明確にしていました。



【附属山口中学校】

中学校では9教科の公開授業を行いました。研究主題「自ら学びをつなぐ生徒の育成～学びの過程に着目して」に沿って、工夫を凝らした授業づくりをする教員の姿、そして生き生きと学び合う生徒たちの姿を、多くの来場者に参観していただきました。

公開授業内容一覧

| | |
|-------------|------------------------------------|
| 国語 | 言葉をつかむ～松尾芭蕉「おくの細道」～ |
| 社会 | 国際社会の課題～食料危機～ |
| 数学 | 現象を数学的根拠で捉える「一刀切り」 |
| 理科 | 力の働きの規則性や関係性を見いだす |
| 外国語 | Work Experience～自分の考えを述べあい、知見を深める～ |
| 音楽 | 能楽に親しみ、そのよさや魅力を味わう |
| 美術 | デザインの本質を捉える「パッケージデザイン」 |
| 保健体育 | 体育理論～運動やスポーツの楽しみ方～ |
| 技術 | 家族の困りごとを解決するものづくり |

数学



折った紙をさみで一回だけ切って正三角形を作るには？

理科



ノック式ボールペンのぼねの縮みはどう変化しているだろう？

英語



世界7ヶ国の職場体験を比べよう！

小学校でのフリートークの実践が活かされ、中学校では積極的に自分の考えを発言したり、活発に議論を交わしたりする生徒が多く見られました。幼小中一貫教育を行うやまぐち学園では、12年間の子どもたちの育ちと学びをつなげる教育を目指しています。自ら課題を見つけ、探究する学習を重ねることで、将来的に自立した学習者となる姿を想定しています。授業後の分科会や事後アンケートでは、来場者から様々なご意見・質問をいただきました。それらを活かし、生徒とともに新たに授業づくりに励んでいきたいと思えます。